

【大阪府域全体の発展に資する新たな戦略】

2020年に向けて、さらなる都市魅力のステップアップを図り、大阪府域全体の発展に資する新たな戦略が必要であることから、大阪府・市のみならず、府内市町村や経済界等の関係者が一体となって、オール大阪で都市魅力関連施策を進めていくための戦略を策定する。

策定にあたっては、現行の都市魅力創造戦略が目指した「世界中から人、モノ、投資等呼び込む『強い大阪』の実現」と、大阪の成長戦略が目指す「世界に存在感を示す『大阪』の実現」を視野に、今後の都市魅力の推進に資する戦略的な施策展開の道筋を示す。

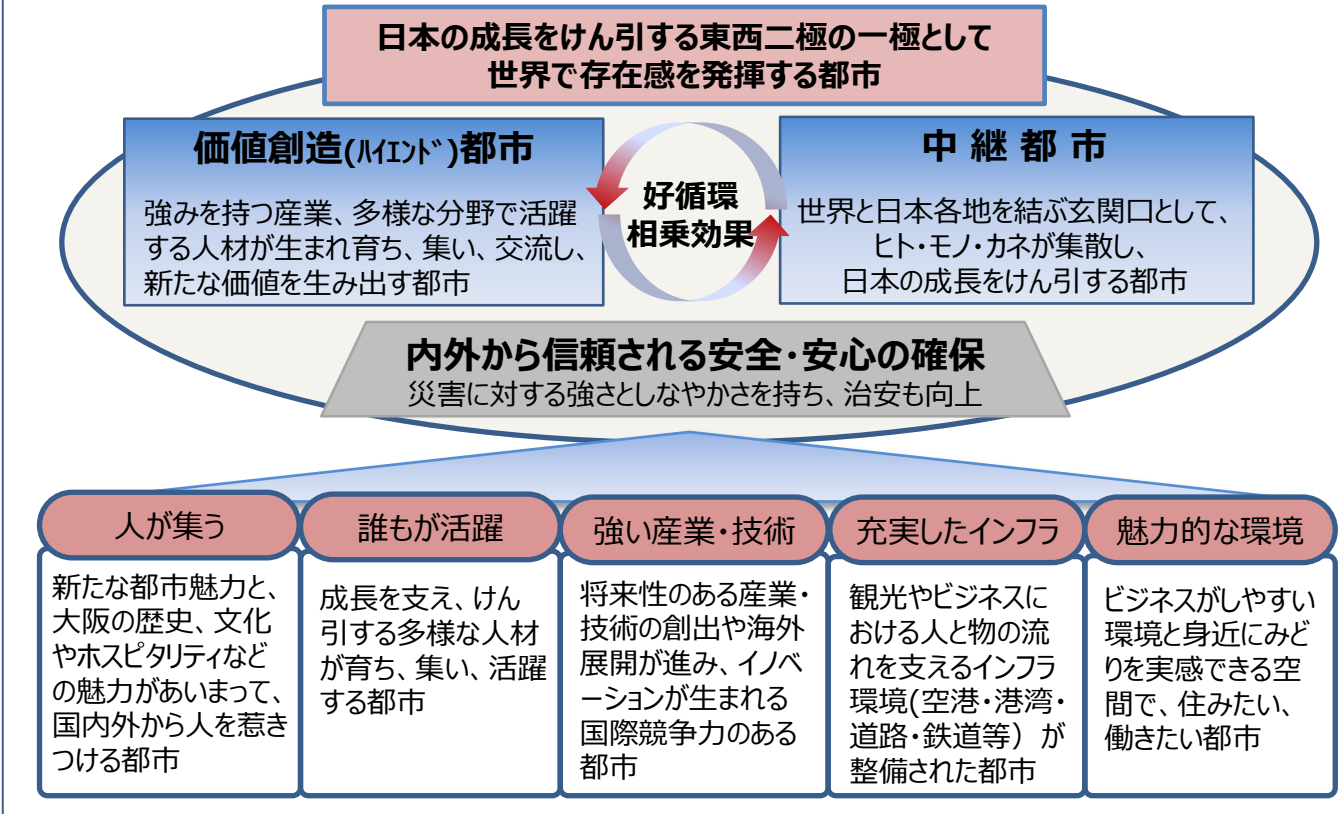
新たな戦略の計画期間：H28（2016）～H32（2020）年度

【基本的な考え方】

「民が主役、みんなで支える」を基本的な考え方として、都市魅力創造施策を戦略的に展開。

- ①これまで府市連携で取り組んできた重点取組を発展・進化
- ②新たな都市魅力のステップアップにつながる施策展開
 - ◇2019ラグビーW杯・2020年オリ・パラを見据えた取組み
 - ◇世界に通用する都市魅力創造
 - ◇多彩な魅力資源を活用した大阪全体の活性化
- ③人口減少も踏まえた交流人口の拡大、国際競争を勝ち抜く人材力強化・活躍の場づくり
- ④施策が目指す都市像を見据え、PDCAサイクルを実行

<参考：大阪の成長戦略> 大阪・関西がめざすべき姿 ～2020年の大阪・関西の姿(将来像)～



新たな戦略目標

①世界中から人、モノ、投資等呼び込む「強い大阪」の実現

②世界に存在感を示す「大阪」の実現

施策分野別目標

<グローバル>

【目指すべき都市像】
グローバルに開かれた都市

【実現に向けたキーワード】

- ・地域のグローバル化
- ・海外へのプレゼンス発信
- ・規制緩和や特区を通じた在留資格の緩和

【目指すべき都市像】
グローバルに活躍できる人が育つ都市

【実現に向けたキーワード】

- ・グローバル人材育成
- ・外国人留学生の受入と定着支援

【目指すべき都市像】
グローバルに活動・活躍できる都市

【実現に向けたキーワード】

- ・企業における高度外国人材の積極的受入・活用
- ・国際都市にふさわしい安全・安心の取組み
- ・多言語での生活支援
- ・都市魅力活動の担い手が集い、交流する民間主体のグローバルネットワークづくり

<観光・都市魅力>

【目指すべき都市像】
世界に誇れる魅力の創出・自慢の都市

【実現に向けたキーワード】

- ・観光集客拠点の魅力創造
- ・日本の文化を満喫できる魅力創出
- ・大阪ならではの魅力創出
- ・魅力的な景観創出

【目指すべき都市像】
24時間眠らないおもてなし都市

【実現に向けたキーワード】

- ・観光客受入環境の充実
- ・旅行者の安全・安心の確保
- ・旅行者のニーズに配慮した多様なサービスの提供

<文化>

【目指すべき都市像】
文化自由都市

【実現に向けたキーワード】

- ・文化振興による好循環
- ・2020年オリ・パラに関する文化プログラムの推進
- ・アーツカウンシルの機能強化
- ・みんなで支え、応援する仕組みづくり

【目指すべき都市像】
多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市

【実現に向けたキーワード】

- ・大阪に滞在したくなる仕掛けづくり
- ・効果的なプロモーションの強化
- ・周遊性を高める利便性の向上

【目指すべき都市像】
多様な人材が集う観光・MICE都市

【実現に向けたキーワード】

- ・MICE誘致の推進
- ・観光産業を通じた地域の活性化
- ・観光マーケティング・リサーチの強化

<スポーツ>

【目指すべき都市像】
世界に誇るスポーツ都市

【実現に向けたキーワード】

- ・世界レベルのスポーツを「みる」機会の提供
- ・世界的大会を契機としたスポーツを「する」、「ささえる」機会の拡充

【目指すべき都市像】
ラグビーW杯、オリンピック・パラリンピックを活かした活力ある都市

【実現に向けたキーワード】

- ・ラグビーW杯、オリンピック・パラリンピックの機運醸成
- ・ラグビーW杯、オリンピック・パラリンピックを契機とした地域の活性化

事業の種類	目標 アウトプット（何を、どうする）	成果 アウトカム（結果どうなる）	KPI（成果指標）
まちづくり			
・整備事業	・〇〇を整備し、景観の向上や利便性を高める	・まちの魅力・利便性を向上し、来訪者が増加	・関係者満足度 ・利用者満足度 ・訪問者数・利用者数
・コーディネート	・イベント連携を図り、規模の拡大を図る	・事業規模拡大 ・事業の魅力アップ	・参加者数 ・経済波及効果
	・人や地域を結びつけ、ネットワークづくりを行う	・連携による新たな取組み ・連携（合同）組織の創出	・ネットワーク参加者数 ・新たな連携・事業数
	・事業者を結びつけ、新たなビジネスや投資を誘発する	・新たなビジネス創出 ・新たな商品創出	・創出事業数 ・創出商品数 ・民間投資額
受入環境整備			
・多言語対応	・施設等の案内表示の多言語化を図る	・外国人利用者の利便性が向上し、来訪者が増加	・訪問者数・利用者数 ・利用者満足度
	・〇〇により、説明・案内の充実を図る		
・交通アクセス	・〇〇により、宿泊拠点やターミナルからの観光アクセスの充実を図る	・府内各地に観光客を誘客	・観光地訪問者数 ・〇〇利用者数
・観光情報	・〇〇により、観光・イベントに関する情報提供の充実を図る	・着地情報の定型化と充実により、着地型観光の促進 ・リピーター獲得	・利用者満足度 ・観光施設利用者数 ・イベント参加者数 ・観光客（リピーター）数
	・〇〇により、〇〇の予約機能の充実を図る	・利便性を向上し、施設等への円滑な誘客を促進	・施設利用者数 ・利用者満足度 ・SNS等による情報拡散
・施設整備	・〇〇を整備し、観光客の利便性向上を図る	・快適な観光をサポート	・施設利用者数 ・観光スポット訪問者数
大規模集客事業			
・イベント開催	・〇〇事業を実施し、集客を図る	・民間参入促進 ・自主事業への発展	・民間資金額 ・経済波及効果 ・参加者数
回遊性向上事業			
・周遊コース	・複数の拠点をテーマ等で結びつけて発信	・観光価値を高め、誘客促進	・訪問者数 ・周遊コース数
オリ・パラ機運醸成			
・イベント開催	・〇〇を開催する	・府民の参加を促進し、〇〇の機運醸成を図る	・〇〇の割合（意識調査等） ・参加者数
・情報発信	・〇〇を活用し情報発信する		
文化力・地域力向上			
・観光振興	・地域資源を活かし〇〇事業を実施	・観光集客を促進 ・地域経済を活性化	・集客数 ・経済波及効果
・文化振興	・〇〇事業を実施		
・スポーツ振興	・〇〇事業を実施		



当該事業の成果の先にある施策目標である「目指すべき都市像」についても明示し、KPIを設定

目指すべき都市像	KPI（成果指標）	目指すべき都市像	KPI（成果指標）
グローバルに開かれた都市	？	多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市	？
グローバルに活躍できる人が育つ都市	？	多様な人材が集う観光・MICE都市	？
グローバルに活動・活躍できる都市	？	文化自由都市	？
世界に誇れる魅力の創出・自慢の都	？	世界に誇るスポーツ都市	？
24時間眠らないおもてなし都市	？	ラグビーW杯、オリンピック・パラリンピックを活かした活力ある都市	？

部会の設置

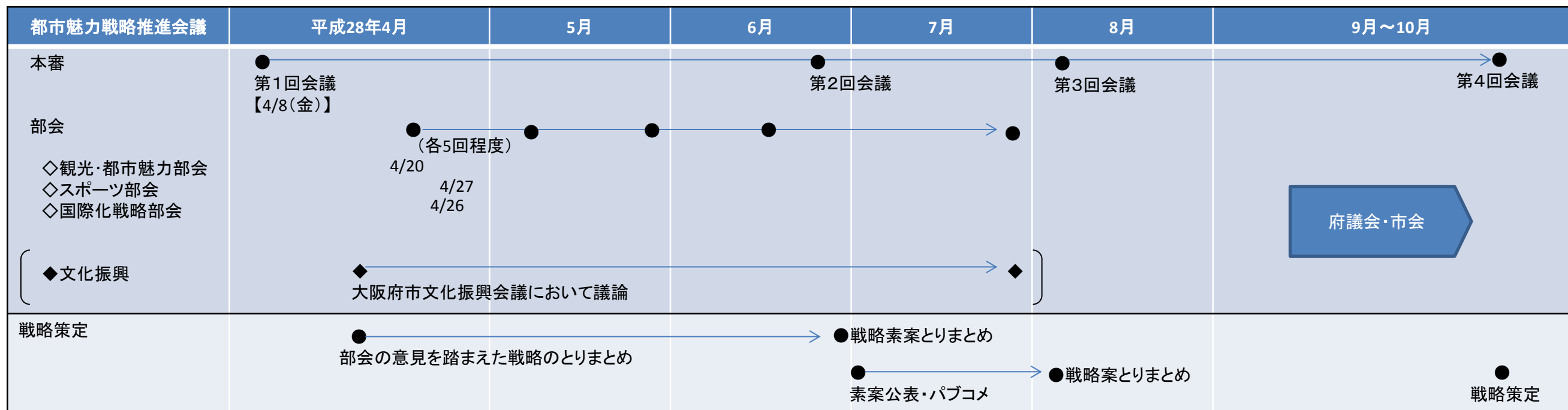
■部会の設置

- ◇必要な部会を設け、議論を進めます。
- ◇部会においては、必要に応じ、府及び市職員との意見交換を通じて戦略的取組みについて議論します。
- ◇部会は、委員(部会長)と専門委員で構成し、必要に応じ参考人等からの意見聴取等により、多面的・多角的に議論します。

部会	主な審議事項	部会長	専門委員氏名・役職	
観光・都市魅力	<ul style="list-style-type: none"> ◇外国人観光客等の受入環境整備 ◇2020年オリンピック・パラリンピックを見据えた観光振興 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントを含むMICEの誘致・開催促進 ・大規模スポーツイベントやプロスポーツなどを活かしたスポーツツーリズム推進 ◇大阪から関西、日本各地への誘客サポート ◇無料公衆無線LAN環境の整備等 ◇世界第一級の文化・観光拠点形成 ◇世界に誇れるエンターテインメント創出 ◇世界に通用する魅力ある観光地域づくり ◇インバウンドの拡大と新たなビジネス創出 ◇地域資源を活かした魅力創出と発信強化 ◇地域産業の活性化 	溝畑 宏	栗本智代	大阪ガス(株) CELエネルギー・文化研究所 主席研究員
			勝見博光	株式会社グローバルミックス代表取締役
			嘉名光市	大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻准教授
			澤田 充	(株)ケイオス代表取締役
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ラグビーW杯、オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・事前合宿や国際試合の誘致 ・聖火リレーを通じた機運盛り上げと地域の活性化 ・大阪出身のアスリート等と連携した機運醸成 ◇オリンピック・パラリンピックを契機とするスポーツ振興 	相原正道	巽 樹理	追手門学院大学基盤教育機構特任助教
			藤本淳也	大阪体育大学体育学部教授
国際化戦略	<ul style="list-style-type: none"> ◇グローバル人材の育成と国際交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツや文化をテーマとした国際交流・グローバル人材育成の推進 ◇インバウンドの拡大と新たなビジネスの創出 <ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメント、ファッション、デザイン、アニメ、食、流通、農業、文化、IT等、様々な業界にインバウンド推進の担い手を広げ、新たなビジネスを創出 ◇内外に地元・大阪の魅力を発信できるシビックプライドの醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪に暮らす人々自身が大阪の魅力を内外に発信する取組みを促進 ・観光ボランティア活動の国際化 ・内外からの観光客を暖かく地域に迎え入れ、おもてなしする取組みを推進 ・大阪に滞在する外国人等による世界に向けた大阪の魅力発信を推進 	近藤佐知彦	生駒京子	(株)プロアシスト代表取締役
			野村卓也	(株)スーパーステーション代表取締役社長

注)文化振興施策については、本審における戦略策定の方針を受けて、別途設置している「大阪府市文化振興会議」(橋爪委員が参画)において議論し、新たな戦略に反映します。

今後のスケジュール



本審(第1回)

- ◆戦略策定方針の決定
- ◆部会の構成及び審議事項決定
- ◆今後のスケジュール
- ◆これからの都市魅力施策の展開にあたっての視点・提案

大阪府市文化振興会議

- ◆2020年に向けた文化振興にかかる戦略については、本審(第1回)の戦略策定方針を受け、部会審議に並行して別途、文化振興会議のメンバーで議論し、本審(第2回)に戦略素案をとりまとめ、報告、審議。

部会(4回程度)

- ◆戦略素案とりまとめ
- ※課題と施策の方向性
- ※戦略目標の設定と施策の評価指標の設定

都市魅力にかかる施策連携(庁内調整)

- ◆庁内関係部局との意見交換の場(WG)を設け、施策及び事業の企画段階での連携を検討。

本審(第2回)

- ◆戦略素案について議論

市町村調整(府と大阪市)

- ◆府市連携事項の課題及び2020年に向けた施策の方向性、施策展開のスケジュール(工程表)の整理

(府・府域市町村)

- ◆地域ごとの課題及び2020年までの広域的施策・連携策の方向性、施策の展開のスケジュール(工程表)の整理

<手法>

- プロジェクト調査
- ヒヤリング(意見交換) など

戦略素案公表・パブリックコメント

部会(1回程度)

- ◆パブリックコメント結果を踏まえ、戦略案とりまとめ

本審(第3回)

- ◆戦略案について議論

大阪の都市魅力に関するマーケティング(調査・分析)

- ◆大阪の都市魅力に関するイメージや意識などについて、マーケティング調査を実施し、戦略策定時点とその後の変化を比較することで、戦略進捗の評価に活用する。
- ◆地域経済分析システム(RESAS)を活用し、データ分析を行う。

大阪府議会・大阪市の9月定例会

本審(第4回)

- ◆戦略策定